

平成28年度活動報告

平成28年度は、高校生36人、中学生22人、小学生68人の合計126人の児童・生徒に学士支援金（3か月に6万円ずつ年間24万円）を支給しました。支給金額は合計3024万円になります。

平成29年3月には12人が高校を卒業、うち大学への進学は7人（短大1人）、専門学校への進学は3人、祖父の会社への就職1人、芸能プロダクション（ナベプロ）1人でした。このほか2人が卒業する予定でしたが、通信制高校や4年制の高校に転校した生徒が2人いたため、この2人には学士支援を継続することにしました。したがって、平成29年度の支給者は、114人となります。

寄付金は、総額682万円余になりました。昨年の通常総会で、新たな寄付の受け付けを打ち切ることを決めましたが、平成27年度の第3次募集の追加で、平成28年度から新たに3人の児童に学資支援を支給することにしたことや、上記のように高校卒業の時期が延長するのに伴い学資支援金の増加が今後も予想されることから、こうした事情を説明したうえで、「義援金証券セミナー」（340万円）、「マニトバ日本文化協会」（133万円）、「save the earth」（53万円）などの寄付を受けました。また、寄付打ち切りの方針が連絡できず、継続して寄付された方々もいらっしゃいました。連絡がつく方には、個別に説明し、理解を求めます。

学資支援以外の支出は、決算報告書の作成費、ホームページの維持費、感謝状や領収書などの郵送費、クリスマスカードの郵送費などで、13万円余になりました。また、昨年度の第1回理事会（総会の開催時）で、運営費の不足が見込まれることから、寄付金収入のうちから為替差益の一部を運営費に移し替えることを決めたのに伴い、寄付金を扱う【基金の部】から【運営費の部】に120万円を移しました。この結果、【運営費の部】の平成27年度末の残高は225万円余となりました。